

# 「産業横断サイバーセキュリティ人材育成検討会」

## 活動状況について

- ・ ユーザ企業主導の新体制へ移行（2017.4.1）
- ・ 今後の活動計画（案）
- ・ 第一回総会、オープンセミナー開催予定（2017.7.19）
- ・ 産学官連携への期待

2017年6月26日

一般社団法人サイバーリスク情報センター  
産業横断サイバーセキュリティ人材育成検討会  
(CRIC CSF) 事務局

# ユーザ企業主導の新体制へ移行（2017.4.1～）

- **2017.4.1より、法人格を有するコンソーシアム（既存団体「一般社団法人サイバーリスク情報センター（CRIC）」内に設置）体制に移行※し、制御系含むユーザ企業が活動を牽引する施策を加え、産業横断としての今後の活動方針を刷新。**
- **今秋までに2020年に向けた具体的目標設定と活動計画を策定（～10月）**
  - 2020年における産業界としての具体的な要件を見定め、それを達成するために当検討会でできること、すべきことの逆線表を引く。
- **昨年までの成果（人材定義等）を実装展開するWGを立ち上げ（6月）**
  - 人材像定義に関する各種リファレンス、ツール類をメンバ企業にて活用
  - 必要人材を育成する既存の研修プログラムを収集・共有（DB化し試用中）
  - 業界が必要とする人材（制御系等）への定義拡大
- **“業界横断”を重視した情報共有を推進する新たなWGも立ち上げ（6月）**
  - これまでに築かれた信頼の輪を活用、参加企業の課題解決につながる場を提供
- **関連団体との関係性も強化、産学官連携エコシステムの具体化に向け加速**
  - 経団連（賛同団体：6/21付）、NISC（オブザーバ：調整中）

# 本検討会が目指すこと

- これまでの活動を通して認識した課題、本検討会の強み、業界や国内外の動向を踏まえ、**2020年東京オリンピック・パラリンピックを乗り切り、その先も頑張り続ける産業界としての主体的な活動として推進していく。**
- 「学」や「官」との連携・協調含め、あくまでも「産」（産業界）が**自主的・主体的に取り組み、自助と共助で様々なセキュリティ問題を乗り越えていく。**

## ①参加企業のレベルアップ

（重要インフラ企業、ユーザ企業を中心にレベルアセスメントに基づく底上げ）

## ②業界相互の共助スキームの確立

（ユーザ企業、ICT企業、セキュリティベンダの有効な関係、ISAC of ISACsの場の提供等）

## ③業界毎の自立

（業界内の情報連携、リーダー企業の選出、ISAC設立支援活動、各社の十分なセキュリティ対応力確保）

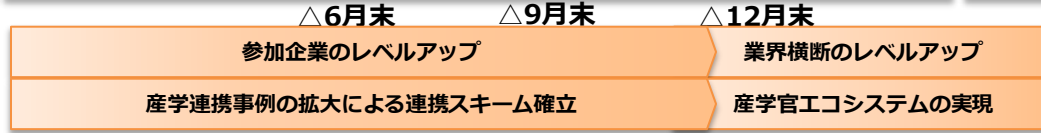
## ④産業界としてさらに有効な産学官連携の仕組み作り

（キャリアパスのモデル提案、産業界ニーズのインプット、官への提言、産業界としてのイニシアチブ）

## ⑤2020年東京オリンピック・パラリンピックを乗り切る

（①、②、③、④を間に合わせること）

# 今後の活動計画（案）



## 凡例

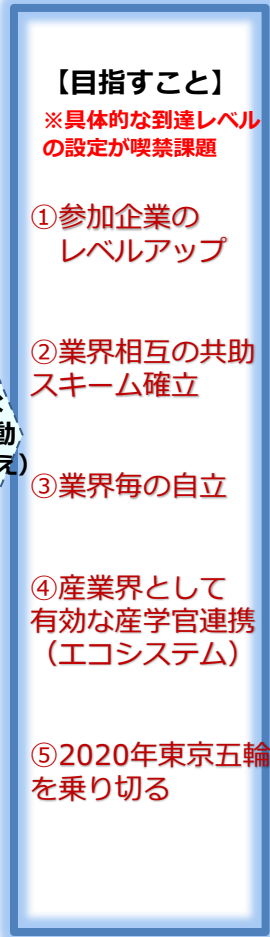


業界横断48社による「信頼の輪」を構築  
 ・人材定義  
 ・トップ層会合  
 etc.

コンソーシアム化



業界毎の自主的な取り組みを軸に活動  
 (コンソーシアムが下支え)



# 第一回総会、オープンセミナー開催 (2017.7.19予定)

- 2020年を見据えた産業界としてのセキュリティ強化の実践に向けて、第一回総会、オープンセミナーを開催する。

- 日時:平成29年7月19日 (水) 15:00~20:00 (受付開始14:30) ※18:00より懇親会
- 場所:TKP東京駅大手町カンファレンスセンター

#	時刻	時間	議題	参加者
総会 第一部 : 15:00-16:00				
1	15:00-15:10	10分	●開会の挨拶	会員企業
2	15:10-15:40	30分	●活動報告等 ・運営方針 ・WGの活動報告	
3	15:40-16:00	20分	●審議事項等 ・代表者 ・年次計画・予算 等	
総会 第二部 (オープンセミナー) : 16:15-17:45				
4	16:15-16:25	10分	●開会の挨拶	会員企業、招待企業
5	16:25-16:35	10分	●後援者ご挨拶 ・●●ご挨拶 ・●●ご挨拶	
6	16:35-16:55	20分	●活動報告等 ・運営方針 ・WGの活動報告	
7	16:55-17:45	50分	●会員企業事例紹介・招待講演 ・●●事例紹介 ・●●招待講演	
懇親会 : 18:00-19:30				
8	18:00-19:30	90分	●乾杯	会員企業、招待企業
			●懇親会 (招待後援)	
			●中締め挨拶	

# 産学官連携への期待

---

## <CRIC CSFの活動>

- 民間主導のボトムアップな人材定義～人材育成の要件分析
- 民間主導の人材育成施策の流通促進
- 民間主導・産業横断の情報共有・情報連携の活性化
- 産学連携事例（寄附講座等）の拡大

## <産学官連携への期待>

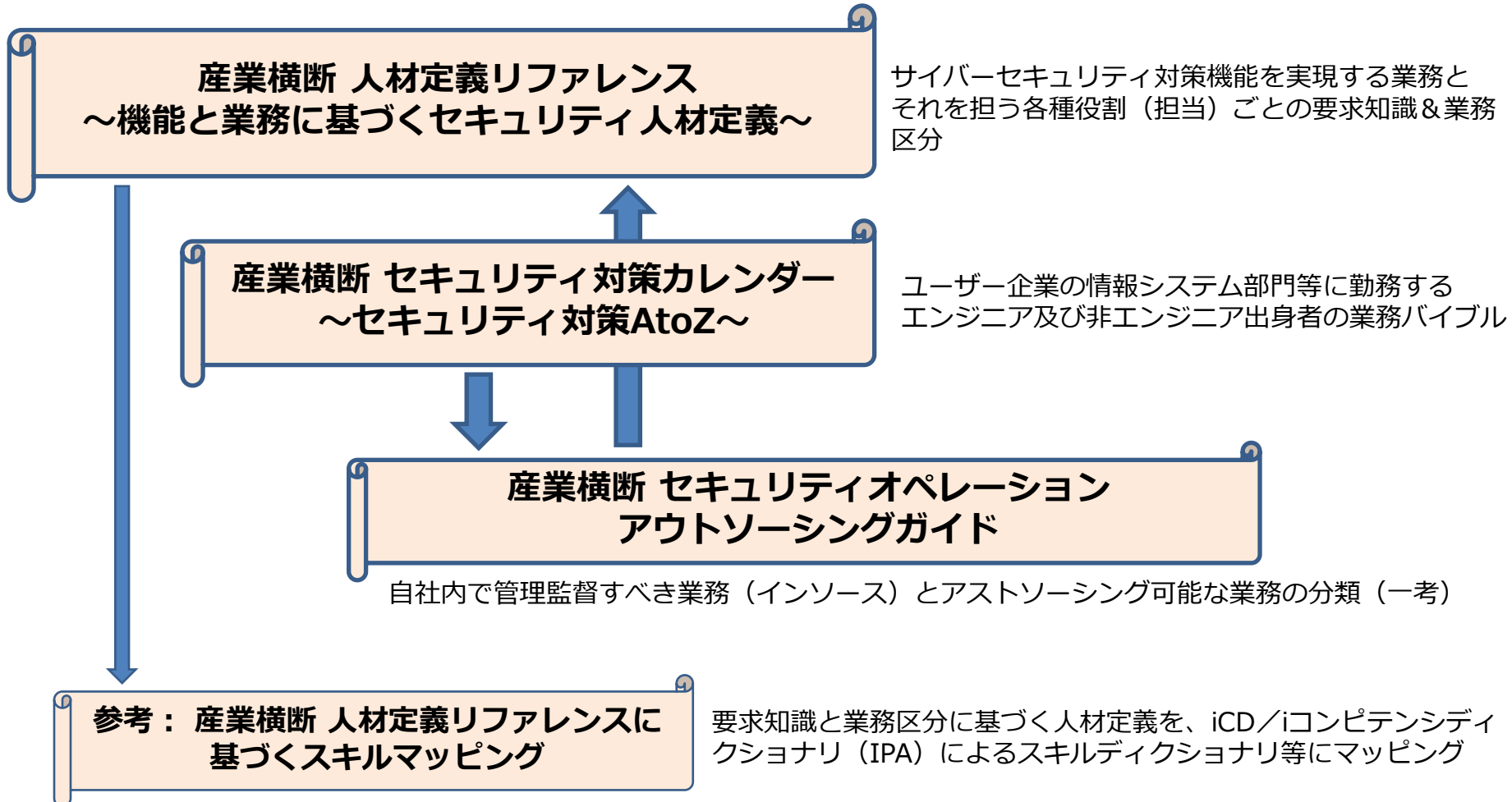
官や学によるさまざまな施策や取り組みについて、客観的、俯瞰的に理解し、産業界の現状や要件が効果的に結びつく方向に進めていきたい。

→ 各施策は、「どのような業界」、「どういう立場」、「どんな状況・どんなレベル」の人が「どうなることを目指しているか」

以下、参考

# これまでの主な成果①

- ユーザ企業における情報システム部門をスコープに、そこで必要となるサイバーセキュリティ機能を洗い出し、それら機能を実現する要求知識と業務区分で人材を定義。





# これまでの主な成果②

- 産業界が求める人材像定義に関する各種リファレンス、ツール類（ユーザ企業における情報システム部門をスコープ）。

サイバーセキュリティ対策の機能定義 (関係図)

↑セキュリティオペレーションアウトソーシングガイド

↑セキュリティ対策カレンダー

←人材定義リファレンス (組織分化と機能定義)

©産業横断 サイバーセキュリティ人材育成検討会

# これまでの主な成果③

- 日本の企業構造に即したサイバーセキュリティ人材の在り方を、典型例として定義した「産業横断 人材定義リファレンス」。

約30種類の役割や担当職

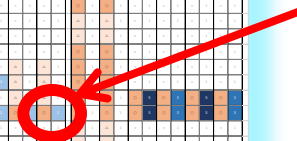


約50種類の機能や業務



The table is a matrix with approximately 30 columns representing roles and 50 rows representing functions. Each cell in the matrix is colored in shades of blue and orange, indicating the level of involvement or responsibility. A red circle highlights a specific cell in the lower right quadrant of the matrix.

3段階の  
要求知識レベル  
と  
5段階の  
責任関与レベル  
(業務区分)



# 産学連携による人材育成（有志企業で推進中）

- 業界横断の仲間作り（コンソーシアム等）を行い、産学連携による実践的なセキュリティ教育（産学連携講座、寄附講座等）を推進。
- 産業界や学界との課題に取り組み、エコシステムの実現を加速。

2015年度 早稲田大（NTT）、北陸先端大（NEC） 2016年度 九州大（富士通）、国立高専機構（日立）など

